

# 2022 年度第 7 回理事会 議事録 2022.11.23

日時：2022 年 11 月 23 日（水）13：00～16：20

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長・途中参加)、玖島弘規、佐々木秀一、佐藤隼、遠藤陵晃（該当部門のみ）、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成（該当部門のみ）（15 名）

欠席理事：奥原孝幸、野本義則、木村修介（3 名）

出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2 名)

## I. 会長より挨拶

対面を予定していた本理事会だが感染状況を鑑みオンラインでの実施となりました。今回より戸塚理事が参加します。子育てと両立して行ってほしいと思います。また、今日は組織改編についても時間をとっています。具体的な話し合いに向けスタートが切れればと思います。吉本事務局長が遅れて参加するため、進行は金山副会長に依頼します。

## II. 審議事項について

1. 相模原市介護認定審査会 委員推薦について(事務局) →承認
2. 厚木市介護認定審査会 委員推薦について(事務局) →承認
3. 神奈川県建築士会 後援名義使用承認について(事務局) →承認
4. 日本医療マネジメント学会第 22 回神奈川県支部学術集会 後援名義使用の許可申請について(事務局) →承認
5. 委員会規則の変更について(規約委員会) →承認

## III. 報告事項について(各部署・理事)

### 【各部署】

#### 1. 学会評議委員会

##### (1) 第 5 回臨床作業療法大会について

抄録を 12 月号のニュースに同封予定。申し込み人数は 47 名（OT23 名、一般 19 名）。

学会評議委員会として参加者アンケートを実施予定。

神保大会長より理事部員に参加を促すよう依頼がある。

##### (2) 第 19 回神奈川県作業療法学会について

12 月号にチラシ同封予定。プログラムを検討しており（一社）日本作業療法協会へも研修講師の協力を仰ぐ予定。

#### 2. 規約委員会

##### (1) インボイス制度の開始など新しい規約の作成について

事務局・財務と連携中。弁護士と税理士に相談予定。

### 【理事・三役】

#### 1. 田中理事

##### (1) 40 周年記念事業プロジェクトチームより報告

臨床大会をもって終了予定。

12月号にクリアファイルを同封予定。40周年記念誌を関係機関や執筆者に発送終了。会員向けにはホームページで公開する。

(2)「協会の方針や最新の情勢を会員に伝える研修会」について

協会からのアンケートに回答。当士会では今後の学会や研修会において会員に伝えていく機会を持つ。

2. 金山理事

(1)選挙ワーキンググループより報告

役員選挙の公示内容について定款に則って実施する。

3. 佐藤隼理事

(1)日本作業療法協会 地域包括ケアシステム推進委員会

2022年度 地域支援事業に関する人材育成研修会について報告。訪問リハや通所リハのあり方、1700市町村へのOTの配置、人材育成と人材バンクについて検討されているとのこと。

4. 澤口理事

(1)リハビリ手帳について

PTOTSTが所属する病院、施設200カ所にモニタリングを依頼する予定。協力依頼あり。

意見等は澤口理事が取りまとめる。

#### IV. 2023年度事業計画案

1. 各部委員会からの発表

事前に各部委員会から提出された2023年度事業計画案を共有し、理事からの質問や意見を収集、その回答を含めて計画案を発表した

- (1) 事務局：会員情報の管理・整理について、関連部署との連携を図り包括的に進めていく。
- (2) 財務：会計方法の見直しに向け、各方面での協力が必要。公益化に向けた財務管理の検討をしていく。
- (3) 学術：スキルアップ研修会はZOOMと対面を検討、当日のトラブル回避のため専用のアカウントを申請。研究の助成活用に向けた勉強会を企画。倫理審査委員会の設置を目指す。
- (4) 教育：臨床実習指導者講習会回数と定員を減。基礎ポイント付与の方法について、バーコード登録は行わず予算減の見込み。
- (5) 広報：紙面でのニュースを4回に増⇒印刷費が増額。小中高、養成校、行政、県民に向け作業療法の魅力をアピールする為に様々な媒体を活用していく。
- (6) 福利：写真コンクールは記念事業として今年度で終了。新規事業として介護・育児時の士会活動参加について対応を検討していく。
- (7) 地域リハ：新規事業として、作業療法とこども・特別支援教育についてのミーティング実施と県民への普及啓発を図る。
- (8) 制度対策：管理職や中堅OT向けの社会制度対策の研修会や自動車運転支援、災害対策に取り組む。
- (9) 規約：今後の活動に合わせて定款や規程の修正に取り組む際、専門家への相談や協業が必要。
- (10) ウェブサイト管理：インスタも視野に入れたSNSの活用、LINEアカウントのプラン変更、内容をブラッシュアップしていく。
- (11) 学会評議：第19回県学会の開催と第6回臨床大会実行委員会の立ち上げを支援。作成したマニュアルを活用。
- (12) 公益法人化対策：県民向け講座にZOOMウェビナーの利用を検討、県民公開事業の検討。
- (13) MTDLP：年2回の研修はオンラインでの開催を予定。情報収集によりMTDLPを活用している事

業所を把握する。

- (14) 認知症対策：家族会等への派遣事業再開、認知症対策について検討会議を増。
- (15) 地域包括ケア推進：地域支援事業（応用編）について動画作成。人材バンクの設立を目指す。
- (16) エリア化推進：県内8エリアでの活動に向けて始動。地域支援活動助成金は保留。

## 2. 質疑応答・意見

澤口理事より：福利部「新入会員オリエンテーション」については広報物で実施なのか。

今までどおり研修会と合わせて行えないか。理事の参加も必要だと考える。

福利部より：どの時期に入会した人でも対応できるように広報物を作成している

オンライン（対面）開催については時期を検討する。

## 3. 全体予算について

玖島理事より、各部委員会の事業費について全体予算を共有。今年度予算と大きく変動はないため、大幅な予算削減はない予定。

## 4. 今後の予定

事業計画案について検討し修正があれば次回12月理事会で提示する。予算案については勘定項目表を添付する。

# V.組織改編

## 1. 説明

### (1)今後の進め方について

会長より以下の点について説明がある。

- ・現在のワーキンググループは全て終了とし、今後は単年度で必要な場合に設置を検討する
- ・新組織図は2023年度10月の完成を目指す
- ・新しい組織図に照らし合わせて関係部門で話し合いの場を持ち、1月の理事会で報告してほしい

## 2. 意見交換・共有

全体で意見交換を実施。新体制への移行に伴い、部長・委員長等の役割分担及び業務内容や、新組織図の承認過程について検討する。

# VI. その他 連絡事項等

## 1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、田中副会長、金山副会長。

## 2. 監事より

### (1)錠内監事

長い時間お疲れさまでした。組織図については各論になりやすいため全体を見て判断してほしい。特に今回は役員選挙もあり新理事での検討は難しい。新組織図については決定しておくことが望ましい。

公益事業について単年度予算の中で予算を組む必要があり内容も大事だが予算を念頭においてほしい。

様々なことがあるが、しっかり次に引き継いでいってほしい。

### (2)野々垣監事

長時間お疲れさまでした。事業計画については部員も含めて検討する機会を設けてほしい。前向きに県土会の今後について検討して行ってください。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	田中 ゆかり	印
	理事：	金山 桂	印
	監事：	錠内 広之	印

次回理事会日程：2022年12月22日(木)19時より開催予定